

呪医と村人、そして私

-フィールドワークから見えてくる<いのち>と研究者のポジショナリティ-

講師：清水 透 氏（慶應義塾大学名誉教授）

日時：2010年2月5日（金）15:00～18:00

場所：広島大学総合科学部第一会議室
（事務棟3階）

参加費無料
事前申込不要

学内・学外を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。講演会後に懇親会を開催します（当日、参加申込可）。

■講演内容

長年にわたるメキシコ先住民村落のフィールドワークにもとづいて、研究者がどのように<いのち>という問題に向き合うのかを語っていただきます。多くの写真を見ながら、生きたお話をうかがいます。また、大学院生をコメンテーターとして迎え、ディスカッションを行います。

■講師紹介

【略歴】東京外国語大学スペイン語学科卒。1968年同学大学院ロマンス系言語専攻修士修了。1976年メキシコ大学院大学（エル・コレヒオ・デ・メヒコ）歴史学研究科博士課程単位取得退学。東京外国語大学外国語学部スペイン語学科教授、獨協大学外国語学部教授、フェリス学院大学文学部・国際交流学部教授を経て、1999年から慶應義塾大学経済学部教授。2009年同学定年退職。現在、慶應義塾大学名誉教授、日本オーラル・ヒストリー学会会長。教育・研究職のほか、日本骨髄移植推進財団委員・理事（1996-2001）、MahoNet-21-骨髄バンクを支える大学・市民ネットワーク代表（1993-2005）を務める。

【専門】ラテンアメリカ社会史、現代医療と医の倫理、オーラルヒストリーの方法

【業績】『コーラを聖なる水に変えた人々』（R.ポサスとの共著、現代企画室、1984年）

『エル・チヨン（チヨン）の怒り—メキシコ近代とアイデンティティ』（単著、東京大学出版会、1988年）

『ラテンアメリカ—統合圧力と拡散のエネルギー』（編著、大月書店、1999年） その他、多数。

【実施責任者】青木利夫（082-424-6354, atoshi@hiroshima-u.ac.jp）【お問合せ】RM事務室河崎（082-424-6518, sen@hiroshima-u.ac.jp）



写真は慶應義塾大学Webサイトより
(<http://www.econ.keio.ac.jp/interview-staff/staff08.shtml>)